

天沼中だより

令和6年3月19日
杉並区立天沼中学校

<http://www.suginami-school.ed.jp/amanumachu/>



～卒業式を迎えられる3年生保護者の皆様へ～

校長 松尾 了

3年生保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。

お子様が中学校に入学した令和3年度、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策と教育活動のバランスをとるために、日常の学校生活の過ごし方、行事をどのように実施するか、入学式はマスク着用、保護者の方の参列も人数制限をさせていただくなど、さまざまな制限、そして多くの試行錯誤や変更など、常に変化をしながらの学校生活を余儀なくされた3年間であったことと存じます。



そして、この変化の激しい3年間を、お子様は「どのようにすれば、よりよい生活を送ることができるのだろう？」と、さまざまな困難に挑み続けてきた3年間であったことと思います。その「前向きに挑み続ける姿勢」で、変化の激しい時代の天沼中を支えてくれました。何よりもお子様自身が、この3年間で本当に大きな成長を遂げられました。

実は、今年度の卒業生が、天沼中への入学した令和3年4月、入学式式辞で次のようなこととお話しさせていただいていました。



(令和3年4月 入学式式辞 一部抜粋・改変)

大人になるとは「自分で自分をコントロールできるようになること。つまり、自分で立つことができる「自立」のために、自分を律することができる『自律』ができるようになること。」だと思っています。

まず、自分の「行動」をしっかりコントロールできるようになってください。忘れ物をしたり、時間を守れなかったりでは人に信用されません。そして次に少し難しくなりますが、自分の「心」もコントロールできるようになってほしいと思っています。

「心」のコントロールと聞くと、みなさんがまず思い付くことは「我慢すること」ではないでしょうか？心のコントロールは、我慢することばかりではありません。

「思い切って一歩を踏み出す勇気」や「自分から元気をだしてみようと、明るい気持ちを絞り出す」こと、さらには「本当に、どうしようもなくなったときに助けを求める勇気」など、『前向きな気持ちをつくるためのコントロール』も大切です。



コロナ禍によるさまざまな制限を受けながらも、学校での諸活動を維持し、さらに発展させ

ていく方法を模索するという難しい状況の中、お互いの個性を認めあい、自ら考え、自分をコントロールしながら、仲間とともに成長してきた3年生の皆さん。

職場体験では、保護者の皆様のご協力をいただき、自分で探した職場での体験をしました。職業について体験を通じて考え、自律への意識が高まりました。そして、職場体験の発表会では個性あふれる発表で1年生のお手本となってくれました。

3年間で印象に残っているのは、何といても校外学習への取組です。「エピソード1」の都内巡りから「エピソード final」の修学旅行まで、生徒自身が3年間の積み上げを意識しながら活動に取り組み、まさに「自立」のために「自律」しようとする姿勢を見せてくれました。

結びとなりますが、3年生の保護者の皆様におかれましては、この3年間ご心配、ご負担をおかけしたことが多々あったことと存じます。そのような状況であっても、保護者の皆様から多くのご協力をいただき、本校の教育活動を支えてくださいましたことにこの場をお借りしまして感謝申し上げます。今後とも母校となります天沼中学校を末永くご支援くださいますようお願いいたします。本日までのご理解とご協力をいただきありがとうございます。



3年生の3月の様子です。お世話になった学校の清掃活動やダンス発表会、球技大会などを行いました。どの行事も一生懸命に「全員で取り組む」姿が印象出来でした。

天中 CS コーナー

「第二の誕生」

ご卒業おめでとうございます。

「二度目の誕生」ということばがありますね。『エミール』で著者ルソーが、子の成長について書いた部分です。思春期のことを意味しているといいます。

今後、皆さんも手にするかも知れないですが、まさにこれから本格的自立・脱皮の時期かと思えます。少し不安もあるでしょうが、楽しみ感もあるでしょう。

これまでの「天沼」地域での、友だち、先生方、商店街や地域の方々とのことが“ベースキャンプ”となることでしょう。そこに“行きつもどりつ”しながら、羽ばたいていってください。天沼地域で育ちの真価が発揮されること、願っています。

2024年3月19日 天沼中学校学校運営協議会（CS）一同

祝 * ご卒業 (文中敬称略)

卒業生の皆様、保護者の皆様、9年間の義務教育を終え、それぞれの未来にはばた
く日が近づきました。右は卒業証書フォルダ。さわやかな表紙です。



令和5年度 第75回卒業式

今年度は平成31年以来の全校生徒参加型の卒業式となりました。卒業生の合唱、全校での最後
の校歌。卒業生の門出にふさわしい感動的な式となりました。

卒業生代表の言葉 3年

卒業生合唱 「大切なもの」 指揮 3年 伴奏 3年

「旅立ちの日に」 指揮 3年 伴奏 3年

校歌斉唱 指揮 3年 伴奏 3年

在校生代表の言葉 2年

表彰

15日、予行練習のあと、3年生関係の表彰が行われました。

体育優良生徒 体育の授業やスポーツ、健康な体づくりに積極的に
取り組み、他の模範となった生徒に与えられる賞

3年

3年



優良卒業生 学習に対する意欲及び成果をものづくりをとおして
発揮し、さらに卒業後の進路に目的をもっている生徒
を対象として与えられる賞

3年

3年



卒業を祝う会 (生徒会主催)

生徒会主催の卒業生を祝う会。今年は「3年生クイズ」と在校生からの合唱のプレゼントを行
いました。「3年生が天沼中学校で初めて食べた給食のメニューは?」「K先生の座右の銘は
何?」3年生に楽しんでもらえるように工夫を凝らしたクイズに、皆楽しそうに挑戦していまし
た。また、3年生からは1・2年生への卒業制作がプレゼントされました。

全校合唱「tomorrow」 指揮 先生 伴奏 3年



令和5年度 天沼レスキュー隊修了式

今年度は区の発足式、修了式、合同訓練、防災施設見学などの杉並区主催のレスキュー隊の活動のほかに校内防災学習会、ふれあい運動会ボランティア、地域のお祭りのボランティア、8町会合同防災訓練、震災救援所訓練など様々な学校外の活動に参加してくれました。天沼中のレスキュー隊は今年度もたくさんの生徒が応募してくれました。3年間レスキュー隊に所属した3年生には、盾も贈られました。代表として、3年 さんが壇上で受け取り、1、2年生に、地域防災の訓練やボランティアに多くの参加を、とメッセージを伝えてくれました。（敬称略）

3年生

2年生

1年生

※青字は3年間継続した生徒です。



一年間。
普段の学校生活では体験できないことをいろいろと行ってきました。
参加してくれた生徒達、協力して下さった地域の方々。ありがとうございます。

卒業生に向けたお祝いメッセージを掲載します。校内に掲示させていただきましたが、紙上でもご紹介させていただきます。多くのメッセージをありがとうございました。

令和五年度 杉並区立中学校 卒業式 祝辞

本日、九年間にわたる義務教育の全てを修了した卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。

また、常に温かい愛情をもって今日まで育ててこられました保護者の皆様、お子様の御卒業を心からお慶び申し上げます。

今年度も、各分野において、若者の目覚ましい活躍が見られました。そのうちの一人が、昨年八月の世界陸上競技選手権大会・女子やり投げにおいて、日本人初の金メダリストとなった、北口榛花(きたぐちはるか)選手です。金メダルを獲得した瞬間や、その後のインタビューで見せた笑顔は、多くの人を惹きつけました。

北口選手は「私が目指しているのは、金メダルや世界記録」と明言し、そこに至るために自分にとって何が必要かを見極め、変化を恐れず実行してきました。自分の思い描いた投てきができなくなった時には、思い切って筋力を付けるトレーニングを減らし、持ち味である体の柔らかさを生かすためのトレーニングを増やしたそうです。金メダルを獲得した昨年の大会でも、最後の六投目まで修正を繰り返しました。北口選手は、目標を達成するために何をすべきか自ら考え行動し、そこから得られた気付きや反省点を次につなげることで、一つ一つの課題を解決してきたのです。

皆さんは、四月から新しい生活が始まります。自らが描いた夢や目標の達成に向かって、課題に向き合い、果敢にチャレンジしていきましょう。今までの思い出や経験を糧に、一人ひとりが自分らしく成長し、これからの社会の創り手として活躍することを大いに期待しています。

結びに、入学以来今日までの三年間、卒業生の健やかな成長を願い、御指導に当たられました校長先生をはじめ教職員の方々、並びに学校での活動に御支援、御協力をいただきましたPTAや地域の皆様に、深く感謝申し上げます、祝辞といたします。

令和六年三月吉日

杉並区 区長 岸本 聡子

杉並区教育委員会教育長 白石 高士

祝詞

ご卒業を心よりお祝い申し上げます
二十一世紀を担う卒業生の皆さんの
前途を祝し、ご多幸をお祈り申し上げます

令和六年三月吉日

豊島学院高等学校 校長 島川 尚文
昭和鉄道高等学校 校長 森田 佳之
学校長 森田 佳之

杉並区立天沼中学校様

ご卒業を祝し、心からお喜び申し上げます。
春うららかな今日の佳き日、
学び舎を巣立つみなさんの未来に幸多かれとお祈りいたします。

杉並区立沓掛小学校PTA一同

お祝いの言葉

皆さんのご卒業を

心よりお慶び申し上げます。

新たな情熱を胸に抱いて

力強く成長されますよう

本校教職員一同お祈りいたします。

令和六年三月吉日

学校法人 野田緑田学園

野田緑田学園杉並高等学校 校長 藤井 弘品

卒業生の皆様

ご卒業おめでとうございます。
新たな世界へ胸を張って飛び立とう！
ずっと応援しています。

阿佐ヶ谷中学校

ご卒業おめでとうございます。
健康に留意され、ますますのご発展を心から
祈っております。

令和六年三月吉日

杉並区立天沼児童館 館長 橋本 正彦

お祝い

ご卒業おめでとうございます。

皆様の厳しくも温かく見守ってくださった先生方、
保護者の皆様方への感謝を忘れず、
希望のある未来へと羽ばたいてください。

皆様の輝かしい門出を心よりお祝い申し上げます。

令和六年三月吉日

学校法人 天沼学園
明聖高等学校 校長 滝本 信行

ご卒業おめでとうございます

天沼中学校での3年間

一人ひとりが大きく成長を遂げたことでしょう

どうか自分を誇めず自分も人も大切に

日々を楽しむ人になってください

皆さんがこれからも笑顔のあふれる日々を過ごせますように

心から応援しています

R6年3月19日

天沼中学校 前副校長

ご卒業おめでとうございます

中学校生活の3年間はいかがでしたか。きっと、たくさん学びや思い出に
あふれた3年間になったと思います。楽しいことだけでなく、時にはつ
らいことや苦しいこともあったと思いますが、それらを乗り越えて今日の目
を覚えることができましたね。今日までの自分自身の努力や、自分を支えて
くれた仲間のおかげがあったからではないでしょうか。

これから、それぞれの新たな一歩を踏み出していくみなさんの前には、無
限の未来が広がっています。自分の可能性や仲間との絆を信じ、目標に向か
って大きく飛躍してください。ご卒業、おめでとうございます。

杉並区立天沼小学校 元六年担任



ご卒業おめでとうございます

3年前の入学式は、コロナウィルスの流行の中で行われ、2年生になって
も様々な規制があったの学校生活だったと思います。
3年生の5月に、ようやく普通の生活に戻るようになっていったと思いま
すが、とても不自由な中学校生活だったのではないかと思います。
天沼小学校地産子育てネットワーク事業「たのしきバクハツ天沼まつり」
では、素敵なダンスを披露してくれてありがとうございました。
とっても好評でした。
「発表する機会がなかったのので、中学校生活のいい思い出になりました。」
と笑顔で話してくださったのがとても印象的でした。
皆様のごこれからの生活が、日々充実するよう心から願っております。

上級児童館館長 清水弘美

ご卒業 おめでとうございます

新しい門出を心よりお祝い申し上げます
三年間ともに過ごしてきました。
友達や先生との思い出を胸に、
素敵な未来を歩んでください
自分のことを大切に優しくと強い心を
忘れずに頑張ってください

令和六年 三月十九日
天沼中学校 支援本部一同



あいつの花

ご卒業おめでとうございます

小中生活の思い出を振り返り、卒業おめでとうの気持ちを込めて、
夢中に生きてきた3年間の思い出を振り返ります。
中学校生活、日々新しい経験と学びを積み重ねてきた3年間は、
多岐にわたる学びの場であり、仲間との絆を深め、自分自身を成長
させてくれた大切な時間でした。また、先生方から教わったこと、
また、仲間から学んだことも、一生の宝として大切に思い出して
ください。

本校 校長 菅野 十雄
職員一同

御卒業おめでとうございます

皆さんは九年間の義務教育を終えて、新しいステップを
一段昇る事になります。
これからは皆さん一人ひとりが、何のために高校へ行くのか
高校で何を学ぶのかを考えなければなりません。
私たち文大杉並校だけではなく、どの高校も入学してくる
皆さんに期待しています。

令和六年三月
文化学園大学杉並高等学校
校長 松谷 茂

ご卒業おめでとうございます

皆さんと過ごした番掛小学校での日々が
今、懐かしく思い出されます。
友達を大切に思う優しい心、どんなことにも
挑戦できる逞しさ、これまでに学んできたことを
生かし大きく羽ばたいてください。
四月から新たな道を歩む皆さんのご活躍を
心よりお祈りしています。

番掛小学校 元六年担任

祝電は校内に掲示させていただきました。

卒業式の送辞

春の優しい光に包まれ、桜の花が咲き始めた今日の佳き日。
新たな旅立ちを迎える先輩方、ご卒業おめでとうございます。
皆さんと過ごした2年間のことが、今懐かしく思い出されます。
常に私たちの前で活躍し、学校を引っばっている姿がもう見られないのかと思うと信じられま
せん。また明日も、校庭に、教室に、廊下に行けば、先輩方と会えるのではないかと思っ
まうほどです。

先輩方がこの三年間の中で、一つ思い出を上げるとしたら何が浮かびますか。
運動会、音楽発表会、委員会、部活動、登下校の道。一人ひとりの思い思いの出来事が浮か
ぶことでしょう。

現在、新型コロナウイルスが落ち着いたものの、年最初の地震や世界の紛争など、不安が多
く不確定な世の中となっております。しかし、そのような環境の中でも、いつも私たちの前を走
り続け、模範となるような姿を見せてくれた先輩方がとても頼もしく見えました。
そして、何よりも、私たちから先輩方に伝えたい思いは、感謝です。

部活動にまだ慣れない一年生のころ、わからないところを優しく丁寧に教えていただき、緊
張をほぐして下さいましたこと。初めてできた後輩への関わり方が分からなかった二年生のころ、
委員会や、たてわり班で率先して話し合いを進めて、場を盛り上げて下さったこと。
挙げればきりが無いほど助けていただきました。今まで本当にありがとうございました。

次は、私たちが三年生、最高学年です。天沼中学校を支え、先輩方のように優しく、
面白く、尊敬されるように精一杯頑張ります。先輩方が、歴代の卒業生から受け取った
バトンを私たちが繋いでいきます。安心して、天沼中学校を見守っててください。

最後に、今後の先輩方のご多幸とご活躍をお祈り申し上げ、送辞の言葉とさせていただきます。
ます。

令和六年三月十九日
在校生代表

楽しかった！
3年間の思い出



1年生



2年生





3年生



**3年生のみなさん、そして3年生の保護者の皆様
卒業おめでとうございます。
天沼中学校での3年間でさらなる飛躍を願っています。
天沼中学校 教職員一同**

